

まいづるのふくし

第216号
令和4年3月発行



話の花を咲かせよう

もくじ contents

報告	赤い羽根共同募金の実績報告	2
報告	歳末友愛運動募金の実績報告	3
紹介	社協ってなに?地域ひとつなぎ事業編	4
地域	地域を知る 地域活動レポート(匂崎乙礁会)	5
報告	はじめよう!ボランティアを開催しました	6
報告	中筋小5年生とZOOMで交流しました	7
案内	送迎ボランティアを募集します	7
報告	貸し出し備品にレクリエーション機材とDVDを追加しました	7
報告	舞鶴市社会福祉協議会長表彰 被表彰者をお知らせします	8
紹介	facebook、ホームページをご覧ください	8
お礼	寄付のお礼	8

(表紙)

写真 はじめよう!ボランティア

2月22日(火)に、ボランティアへの関心を高め、活動をはじめめるきっかけづくりを目的に「はじめよう!ボランティア」を開催しました。コロナ禍のため、マスクやパーテーションなどの感染予防対策をしながらではありましたが、グループワークでは互いの活動や、やってみたいボランティアなどで話が尽きない様子でした。隔てるものがない中で、大きな声で笑いながら話せる日が待ち遠しいですね。詳しくは、6ページをご覧ください。



社会福祉
法人

舞鶴市社会福祉協議会

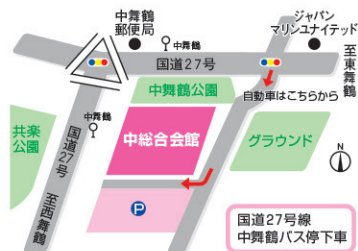
(舞鶴市ボランティアセンター、舞鶴市成年後見支援センター)
(舞鶴市共同募金委員会事務局、舞鶴災害ボランティアセンター)

〒625-0087 舞鶴市字余部下1167(中総合会館 3F)

TEL.0773-62-7044 FAX.0773-62-7039

E-mail maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/>



報告 募金運動の結果をご報告します

令和3年度 赤い羽根共同募金実績

総額 **9,115,153円**(前年比98.7%) (令和4年3月2日現在)



赤い羽根共同募金とは？

戦後間もない昭和22年に、家や家族を失った子どもたちのために「国民たすけあい運動」という名前でスタートしました。舞鶴市で集まった募金の約70%が本市に配分されます。

配分金は、高齢者や障がい者、子育て世代やひとり親家庭への支援、ボランティア活動支援、大人用紙おむつ割引券発行、福祉車両貸出事業、福祉機器貸出事業など、令和4年度の地域福祉活動事業に活用されます。

皆さまから
いただいた募金は、
このような事業に
使われています。



民児協との協働事業



ZOOM学習「福祉の仕事を知ろう」

募金内訳

募金種別	募金額	内容
戸別募金	7,572,164円	各世帯を対象に、一世帯420円を目安額として、各自治会(区)で取り組んでいただいた募金です。
街頭募金	43,545円	10月2日(土)に「ショッピングセンターらぼーる」と「舞鶴港とれとれセンター」で呼びかけた募金です。
法人募金	527,000円	企業や法人で取り組んでいただいた募金です。
学校募金	48,113円	小・中学校、高等学校の児童・生徒に呼びかけ、福祉教育の一環で取り組んでいただいた募金です。
職域募金	796,504円	企業、官公庁、団体(民児協、青年会議所など)の職域で取り組んでいただいた募金です。
個人募金	49,850円	戸別募金以外の個人からの募金です。
その他	77,977円	市内各所に設置した募金箱などによる募金です。
合計	9,115,153円	

※イベントの来場者等に呼びかけるイベント募金は、令和3年度も新型コロナウイルスの影響で期間内にイベントが実施できませんでした。

多くの皆さまに
ご協力いただき
ました！



学校募金(西舞鶴高等学校生徒会)



街頭募金(ショッピングセンターらぼーる)



皆さまの温かい
ご協力ありがとう
ございました！

令和3年度 歳末友愛運動募金実績

総額 **4,672,866円**(前年度比106.0%)



歳末友愛運動募金とは？

新たな年を迎えるにあたり、さまざまな生活課題を抱える方々を支援することで、地域で孤立することなく安心して暮らせるよう、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、本市では毎年11月21日～12月20日に実施している募金運動です。お寄せいただいた募金は、その年度に配分されます(下記「募金の配分内訳」とおり)。



募金内訳

募金種別	募金額	内容
戸別募金	4,169,939円	各世帯を対象に、一世帯200円を目安額として、各自治会(区)で取り組んでいた募金です。
個人団体募金	502,927円	国際ソロプチミスト舞鶴、ボーイスカウト舞鶴第3団・第6団、天理教少年会舞鶴支部、桂林寺末山会の5団体と個人からいただいた募金です。
合計	4,672,866円	

募金の配分内訳

(令和4年3月2日現在)

配分内訳	金額
地域の要援護世帯等へお贈りしました。	495,000円
在宅障がい児の方へお贈りしました。	1,310,000円
福祉施設やひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動などのボランティア活動を配分しました。	176,241円
大人用紙おむつの購入に対する割引を行いました。	1,004,200円
障がい児等の当事者団体、児童養護施設等の福祉活動実施のために支援しました。	374,090円
貸出用介護機器の整備(吸引器のメンテナンス)を行いました。	186,800円
その他(事務費等)	373,829円
合計	3,920,160円

年末年始に実施された次のような事業に使わせていただきました。

ちぎり絵のクリスマスカードを作成された舞鶴在宅介護者の会。配付先で大変喜ばれました。

子ども食堂「ともともサンタ」のクリスマス会、盛り返りました。



紹介

社協ってなに？〈地域ひとつなぎ事業編〉

舞鶴市社会福祉協議会では、さまざまな地域福祉事業を行っており、その中には地域での見守り活動への支援もあります。

今回の「社協ってなに？」は、見守り活動に対する助成事業、「地域ひとつなぎ事業」についてご紹介します。



地域ひとつなぎ事業は、京都府社会福祉協議会が実施している事業で、京都府内全域で行われています。舞鶴市では舞鶴市社会福祉協議会が窓口となっています。

目的

地域で孤立しがちな住民等を戸別訪問し、見守ることによって孤立を防ぎ、安心・安全な地域づくりを目指す活動の強化(拡充)を図ります。

活動内容

- ①戸別訪問
- ②配食見守り活動
- ③電話による安否確認
- ④上記以外に訪問し見守る活動

助成額

20,000円～40,000円
※助成額は、見守り対象者数により算定します。



対象団体

ボランティア団体・NPO法人・自治会(区)・老人クラブなどで、下記に示した訪問等の見守り活動を展開する団体

- 見守り対象者(実人数)が**5人以上**であること
- 対象としている方の名簿を作成し、直接戸別訪問・電話による安否確認等を**年10回以上**行うこと
- 活動者間で定期的な**情報の共有の場をもつ**こと



舞鶴市では、令和3年度は23団体が申請されました。コロナ禍ということもあり、電話やチラシ持参の訪問など、見守りの仕方も工夫されていました。



活動者間での情報共有も大切です。サロン活動をされている団体も多く、見守り対象者にも参加を呼びかけられています。

令和4年度も申請団体を募集します。

5月上旬～中旬に、案内を社協ホームページに掲載や公共機関にチラシを配架しますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせ

舞鶴市社会福祉協議会

市内では地域福祉活動に取り組まれている、様々な団体や実施された事業がたくさんあります。その中からピックアップして、これからの「地域を知る」でお伝えしていきます。

今回は、地域で見守り活動や健康体操などをされている、匂崎乙礁会の活動をご紹介します。



ニオイザキオトグリカイ 匂崎乙礁会



匂崎乙礁会は、西舞鶴の下安久地域で約40年活動されている老人クラブです。現在、メンバーは41人おられます。月に2回、匂崎の集会所で健康体操などをされており、「社協ってなに?」でもご紹介した、地域ひとつなぎ事業で見守り活動も行われています。

ひとつなぎは 人つなぎ

地域ひとつなぎ事業では、メンバーで分担して地域を見守られています。会独自で作成した「見守りカード」をそれぞれ記入し、月2回、それを持ち寄って情報共有をされています。メンバーには民生児童委員を経験された方もいて、そのノウハウを活動に活かされているそうです。

令和2年のマスクが入手困難な時期には、メンバー同士で家にあった布を提供したり、その布でマスクを250枚手作りしたりと協力し合って、地域で必要な方に複数枚ずつ配付されたそうです。声をかけ合ったり特技を発揮するなど、メンバーそれぞれができることで、地域を永く支えられています。

会長の松岡さんは、「集会所で顔と顔を合わすこと、“face to face”が大切です。人と会うと元気が出ます。」と、活動の基本にされていることを教えてくださいました。ひとと人がつながり合うことを大切に活動されていることが伝わってきました。



月2回、健康体操で顔を合わせます。



匂崎乙礁会の皆さん

見守り活動では、集いの場に来てもらう誘い出しが大切です。これから始める場合は、健康体操などを活用するのはどうでしょう。私たちの会でも、声かけをすることで、来てくれるようになった人もいます。

続けるうちに、声をかけなくても自主的に参加されるようになりました。体操を続けると、歩行も前よりだいぶ楽になりましたよ。

報告

ボランティア・市民活動の芽を育てる事業 はじめよう♪ボランティアを開催しました

舞鶴市ボランティアセンターでは、ボランティア活動を始めるきっかけづくりを目的に、「はじめよう♪ボランティア」を2月22日(火)に開催しました。
市内で活動されている2団体に、活動の紹介や報告をしていただきました。



海さんぽみちを考える会

城北地域包括支援センターと地域の高齢者を中心に、西駅からの遊歩道に花を植えています。閉じこもり予防や外出のきっかけ等、「つながりの道づくり」を行っています。

【城北包括】
主に西図書館前の花壇で活動中。ゴミ拾いや草むしりなど、誰でも気軽に参加できます!



【メンバーの声】
意識的に遊歩道を歩いたり、これまで気にしなかった花に目がいくようになりました★

NPO法人舞鶴国際交流協会 MIAにほんご教室

人種や国籍・宗教・文化などの違いによる差別のない多文化共生社会づくりに取り組んでおり、言語の学習だけでなく、交流会や地域のイベントでお互いの文化を楽しく学んでいます。



外国語が話せなくても大丈夫!日本語で日本語を教えるボランティアです。
毎週土曜日の午後15時に中総合会館で行っていますので、一度見学に来てください。



参加者からは、「自分の知らないボランティアの方が、いろいろな場所で活動されていることが知れて良かったです」、「発表を聞いて、自分たちの活動の励みになりました」などの感想が寄せられました。

舞鶴市ボランティアセンターは、ボランティア活動の「はじめの一歩」を支援しています。
.....お気軽にご相談ください。

コラム

集めるボランティア ベルマーク運動

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。そんな願いをこめて1960(昭和35)年にベルマーク運動は始まりました。

「協賛会社」が付けているマークを登録参加のPTAなどが集め、整理・計算してベルマーク財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク預金になります。その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が購入できる仕組みです。

マーク集めから始められる、誰でも気軽に参加できるボランティアのひとつです。

舞鶴市ボランティアセンターでもベルマークを集めていますので、ぜひお寄せください。

収集箱は社会福祉協議会の窓口等に置いています。

集まったベルマークは、市内の小学校等へ贈ります。



報告

NPO法人
視覚障害者支援ネット・チームまなざし
神田さん・堤さん

中筋小5年生と ZOOMで交流しました



中筋小学校の5年生が、障がい者等の福祉分野について座学や体験での学習を経て、実際に当事者の方にインタビューしたいという声から、ZOOMによる交流が実現しました。

今回、講師を引き受けていただいたのは、「NPO法人視覚障害者支援ネット・チームまなざし」の神田昌胤さんと堤隆志さん。神田さんからは視覚障がい者の生活について、堤さんからは「まなざし」の活動等についてお話しいただきました。

児童たちも、事前に考えていた質問だけでなく、当日お話を聴いて感じたことを質問するなど、意欲的に参加されていました。

ZOOMの画面越しに交流しました。



校区内に農園を開設し活動しているので、機会があれば見に来てくださいと、実際にタネイモを見せていただきました。



お二人の息の合った楽しいかけ合いで、わかりやすく話していただきました。

案内 福祉送迎ボランティアを募集しています

社会福祉協議会では、ボランティアの協力を得ながら、日常生活で移動手段の確保が困難な方の外出を支援しています。

【ボランティアの要件】

- 普通自動車免許を取得して3年以上の方で、かつ過去3年間運転免許停止処分を受けていない方
- 利用者の移送の安全を確保できる70歳未満の方

【活動時間等】

おおむね週に1~2回（土日祝、年末年始を除く）



詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせください。



報告

貸し出し備品にレクリエーション機材と DVDを追加しました

福祉教育や子育て事業等で使っていただけるような、レクリエーション機材とDVDを追加しました。ぜひご活用ください。

追加された備品

〈レクリエーション機材〉※各300円/回

- ボッチャ(2セット)
- プレイバルーン(直径4メートル)



〈DVD〉※貸出無料

- 知りたいあなたのこと 視覚障がい者の生活・気持ち(21分)
- 「やさしく」の意味 おばあちゃんは認知症だった(33分)



プレイバルーン

報告

舞鶴市社会福祉協議会長表彰 被表彰者をお知らせします

おめでとう
ございます!



毎年開催しています「舞鶴市社会福祉大会」で被表彰者の方を表彰しておりますが、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見送り、被表彰者の方には個別で表彰状等をお贈りしました。

表 彰

【民生児童委員】(31名)

芦田真由美	井本 精一	小神 和男	藤本ひとみ	小室弥寿生	内海 敦子
荻野 正洋	柿井ひろみ	坂根 博	森 佑二	内海 秀人	白髪 正道
高橋 徳雄	村田 里美	河原田譲二	片岡 藏	二谷 敏子	藤田美乃里
白井 知二	遠藤 貞美	嵯峨根里子	小谷恵津子	河田 照子	山室 協子
谷川 律子	岩見美津子	平田 克己	一和 博子	小和田宏子	加藤喜美子
塩田裕美子					

【社会福祉施設・団体の役員・従事者】(37名)

森下 富子	遠藤 貞美	土井 千晶	塩尻 悦子	古川萌々恵	山口未由利
上西 貴子	佐藤 真美	野々垣悟子	佐藤かおり	坂谷 涼子	南 香澄
淡路 育子	山口 裕子	山根イメルダ	岩永 文子	上野 直哉	前 聡子
林 加奈子	山崎 啓司	金子 美好	小林 学	山添 雄司	清水 宏一
藤田 元	四方 恵美	杉山 崇行	山内 直美	松本 直樹	岡本 幸慈
丹生 由美	内藤 仁美	城地 要	山内 千尋	中野 雅美	塩見 恵理
西岡 千尋					

※順不同 敬称略

感 謝

舞鶴市母子福祉会 海上自衛隊有志 中西 弘子 (匿名1名) ※順不同 敬称略

※表彰：福祉団体の主要な役員として8年以上事業に関係、社会福祉施設等の職員として10年以上の在職をされた方
社会福祉事業のために無報酬で協力している個人(10年以上)または団体(7年以上)

※感謝：社会福祉協議会に対し、10万円以上の寄付をされた方(団体)

紹介

Facebook、 ホームページを ご覧ください



社協ホームページ



社協Facebook

QRコードから
ご覧いただけます



お礼

ご寄付をいただいた方々

貴重なご芳志をありがとうございました。
大切に活用させていただきます。

〈令和3年12月4日～令和4年3月4日〉



- 匿名 1名様 石鹼(箱詰め)11箱
 - 国際ソロプチミスト舞鶴様 10,000円
 - 荒賀 茂様 100,000円
 - 匿名 3名様 26,000円
- 合計 136,000円